

令和3年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

青森県立青森第一高等養護学校 1年 川原田 祥央

※受賞当時の学校と学年です

優秀賞作品

なくそういじめ みんな世界で オンリーワン

令和4年度 青森県教育委員会の「施策の柱」

— 新しい時代を主体的に切り拓く人づくりに向けて —

青森県教育委員会では、青森県教育振興基本計画に基づき、本県教育を取り巻く重要課題の解決に向けて取り組む主要な施策を明らかにするため、「施策の柱」を設定し、取組の重点化を図ることとしています。

令和4年度は、以下の4つの柱を設定しました。

「新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」に向け、保護者の皆様方をはじめ、市町村教育委員会、学校、その他関係機関や団体の皆様方と連携のもと、各種施策に取り組んでまいりますので、ご理解、ご支援をお願いします。

1 次代を担う子どもたちに求められる資質・能力の育成

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うなど確かな学力の向上を図ります。

とりわけ、グローバルな視野や情報活用能力など、新しい時代に求められる資質・能力の育成に取り組むほか、防災教育の推進を図ります。

主な事業 青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業

国際的な教育プログラムである国際バカロレアの理念に基づく教育プログラムの開発・普及に取り組むとともに、本県の高校生と台湾の高校生の相互交流による主体的で実践的な協働学習を実施します。

主な事業 ICTを活用した確かな学力向上事業

児童生徒の1人1台情報端末の導入に伴い、情報端末を効果的に活用した学習活動ができるよう、小・中・高等学校・特別支援学校それぞれにおいて、教員のICTを活用した指導力の向上に取り組めます。



2 地域で活躍する人財の育成及び県内定着の促進

子どもたちのふるさとの理解を深め、誇りや愛着心を醸成する取組を行います。

あわせて、学校・家庭・地域・県内企業・関係団体と連携しながら、将来の社会や産業を担う人財及び地域で活躍する人財の育成、子どもたちの将来の県内定着に向けた取組を推進します。

また、地域社会全体で子どもを育む仕組みづくりに取り組むほか、特別支援学校生徒の社会的・職業的自立を促進します。

主な事業 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業

県立高校において、地域資源や人財を活用して、高校所在地及び自身の居住地等について理解を深める学習「あおもり創造学」に取り組むほか、県内就職に関する情報提供や学校と企業の相互理解を促進するための就職支援員を配置します。



主な事業 産業教育の推進・人財育成事業

令和4年10月15日～16日に全国産業教育フェアを本県で開催する機会を捉え、高校生による地元産業の研究、県内産業教育機関のPR、オンリーワン企業や小・中学生を対象とした地元企業の紹介、業務体験などに取り組めます。

3 子どもを守り支える安全・安心な教育環境の整備

教員が子どもに向き合う時間を確保し、きめ細かな指導を行えるよう、小学校の少人数学級編制の拡充や、小・中・高等学校・特別支援学校への外部人材・外部専門家の配置・活用の拡充等を行います。

また、いじめや不登校などに対する相談支援体制や、特別な教育的ニーズのある子どもへの支援体制の充実を図るとともに、学校施設等の整備・充実に取り組む、安全・安心な教育環境の整備に向けた取組を推進します。

主な事業 あおもりっ子育てプラン21事業

これまで小学校1年生から5年生及び中学校1年生を対象に実施していた33人学級編制(学年2学級以上の場合)を小学校6年生まで拡充します。また、これまで小学校1年生から4年生を含む複式学級において一定の児童数以上で配置している非常勤講師を6年生まで拡充し、きめ細かな学習指導や生活指導の充実を図ります。



【学級編制基準】

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1
～R2		33人				40人	33人
R3		33人			33人【拡充】	40人	33人
R4		33人				33人【拡充】	33人

4 スポーツの振興と文化財の保存・活用

幼少期からの体力向上、肥満防止、運動不足解消や、年間を通じてスポーツに親しめる環境づくりを促進するとともに、国民スポーツ大会の本県開催に向けた競技力の向上等を図ります。

また、郷土の文化財を知り、魅力を発信できる人財育成に取り組むとともに、かけがえのない文化財の保存・活用を図ります。さらに、世界文化遺産に登録された特別史跡三内丸山遺跡を始めとする縄文遺跡の普遍的価値を次世代に継承するための取組を行います。



主な事業 楽しさアップ!子どもの健康づくり事業

「楽しい体育」に向けた授業改善を推進するため、教員向けに体育の楽しさアップ研修会を開催するとともに、小学校低学年向けの運動プログラムや運動遊びチャレンジカードの普及に取り組めます。

主な事業 「地元の縄文」再発見プロジェクト事業

世界文化遺産の構成資産以外も含めた地元の縄文遺物の価値や魅力を県民に伝え、郷土愛の醸成や地域活性化を図るため、授業で活用する縄文遺物セットの製作、地元の縄文を紹介する講演会等の開催、県内各地で配布する遺跡・出土品カードの作成等を行います。





令和4年度 命を守る！ 防災教育推進事業

“防災教育モデル”を構築する ため、地域や外部専門家と連携した 防災教育に取り組んでいます！



令和3年度から実施している本事業では、学校と地域が連携した防災教育などを実践しており、令和4年度も内容を改善・充実させ引き続き取り組みます。研究指定校6校における令和3年度の活動実績をご紹介します。

●外ヶ浜町立三厩中学校 地域と連携した防災訓練 (令和3年11月)



津波警報が発令され、地域住民が学校へ避難することを想定した避難所開設訓練を行いました。訓練を通して生徒たちには、地域に貢献する態度や責任感が身に付きました。

●むつ市立川内小学校 地域と連携した防災訓練 (令和3年11月)



むつ市防災安全課や地域住民と連携し、学校にある備蓄品を用いて避難所設営体験を行いました。

●深浦町立修道小学校 津波避難経路の確認・改善 (令和3年8月)

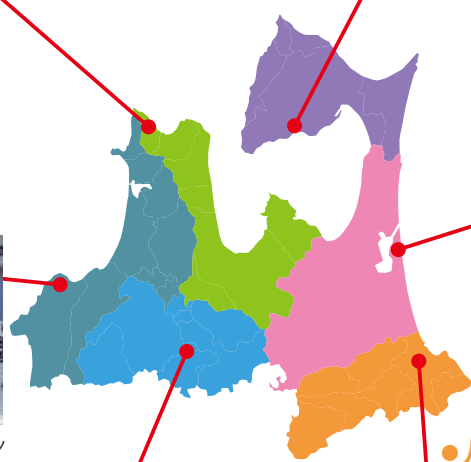


深浦町と日本赤十字社の指導のもと、学校から北金ヶ沢防災センターまでの避難経路を確認し、学校防災体制の改善を図りました。

●三沢市立第三中学校 地域と連携した防災訓練 (令和3年9月)



「道の駅みさわ」への津波避難の後、避難所生活に関する体験的な防災学習を三沢市防災管理課や地域の協力を得ながら実施しました。



●八戸市立三条中学校 地域と連携した防災訓練 (令和3年10月)



八戸市消防団上長分団などと連携した体験活動を通して、共助の視点から学び、災害発生時にも助け合う力を身に付けました。

●弘前市立石川小学校 体験的な防災学習 (令和3年12月)



日本赤十字社の指導のもと、AEDの使用方法や三角巾を使用した応急手当について学びました。

問合せ先 スポーツ健康課 体育・健康グループ TEL 017-734-9908

高校生 スキル アップ

UP

HIGH SCHOOL STUDENT SKILL IMPROVEMENT PROGRAM

部活動+αで 磨こう“自分”!

—参加者も認定証交付数も増えてます—

「スキルアップ認定証」「スキルアップ奨励証」を交付された生徒の多くは、**部活動と両立しながら**発展的に学び続けることで自己のコミュニケーション力や様々なスキルを向上させ、進路達成のためにこのプログラムを活用しています。

県内の高等学校及び特別支援学校高等部に在籍している生徒であれば、誰でもこのプログラムに参加することができます！
あなたもぜひ参加してみませんか？

【令和3年度】	
参加者数	3,191名
新規参加者数	1,494名
スキルアップ認定証交付数	25名
スキルアップ奨励証交付数	46名



詳しい内容や参加方法等は、総合社会教育センターホームページ「高校生スキルアッププログラム」をご覧ください
https://www.alis.pref.aomori.lg.jp/kouza_hssp.html

あなたの学校外活動を「単位」として認定し証明します！

このプログラムでは、高校生が学校外で参加した講座・ボランティア活動や自分で設定した課題の研究について、まとめた成果を単位として認定します。活動後にレポートを書き、1時間の学修につき1単位分が取得できます。申請すると20単位で「スキルアップ奨励証」、35単位で「スキルアップ認定証」が交付され、継続した活動を希望進路先にアピールすることができます。



リニューアル

レポートが変わった!

—マニュアル付でわかりやすく、書きやすい!—

令和3年度からレポートの様式が新しくなりました。マニュアルに書き方も示しており、項目ごとに書く内容がわかって書きやすいと好評です！
右の二次元コードからレポート様式をCHECK！



NEW

活動しやすい、単位が取りやすい!

—活動を一部変更、単位につながりやすくなった!—

活動範囲を一部拡充したことで、より単位が取りやすくなりました。また、活動テーマを工夫すると時間数分の単位がもらえるので効率よく取得できます！

〈対象となる学校外での学修内容〉

- ①市町村民向け講座や大学等主催の講座・講演会、**オンライン**や**オンデマンド**で配信されている講座や講演会
- ②**ボランティア**や各種地域活動、**オープンキャンパス (WEB含)**等の体験活動
- ③インターネット、DVD等、映像教材の視聴 (令和2~4年度実施分は**10単位**まで取得可能)
- ④自分でテーマを決めて調査・研究する「**自由課題研究**」、美術館や博物館、資料館などを「**鑑賞**」(10単位まで取得可能)

問合せ先 青森県総合社会教育センター 育成研修課 TEL 017-739-1253

高校生スキルアップ青森 🔍 検索

ご利用ください ～学びを支える各種制度～

高等学校等予約奨学金

～高校進学前に奨学金を予約する制度です。
部活動費、資格試験代、通学費等にご利用ください～

- 対象 保護者が青森県の住民で、令和5年4月に高等学校等へ進学を希望する中学3年生
- 募集人員 約500人
- 貸与月額 次のうち、必要に応じて希望する金額
ア：18,000円 イ：23,000円 ウ：30,000円 エ：35,000円
- 返還 無利子で、貸与終了後1年据置、貸与期間の3倍の期間内に全額返還（3年間貸与を受けた場合は9年間で返還）。また、失業等で返還が困難になった場合は、返還猶予制度があります。
- 申込方法 県内の各中学校にある「予約申込書」と添付書類を、在学する中学校が指定する日までに同校へ提出してください。
- 締切 各中学校から公益財団法人青森県育英奨学会への締切は9月12日（月）
- 問合せ先 在学する学校



詳しくは、7月に学校から配布される募集要項をご覧ください。

県庁HP [高等学校等予約奨学金](#) 🔍 検索

大学入学時奨学生募集

～大学入学時に必要となる経費に充てるための奨学金です～

- 対象 以下の①から④のすべてに該当する高校生、高等専門学校生等
①保護者が青森県の住民
②令和5年4月に大学（通信制・短期大学を除く）の第1学年に入学見込
③生活保護受給世帯もしくは市町村民税所得割非課税世帯又は児童養護施設等入所者
④大学出願用調査書の全体の評定平均値が4.0以上（児童養護施設等入所者等は3.5以上）
- 貸与額 10万円を単位とし、60万円以内の必要な金額
- 申込期間

	募集期間	採用者数	採用予定
第1次募集	令和4年7月8日～令和4年8月15日	50人程度	9月
第2次募集	令和4年8月16日～令和4年10月11日	30人程度	11月
第3次募集	令和4年10月12日～令和4年12月23日	20人程度	1月

- 申込方法 県内の各高等学校等にある「大学入学時奨学金申込書」と添付書類を、在学する学校が指定する日までに同校へ提出してください。
- 貸与時期 大学の合格発表後（令和4年9月から令和5年3月までの間）
- 返還 大学卒業後又は退学した月の翌月から起算して1年経過後8年以内に全額返還（無利子）。
- 返還免除 （次の要件を満たす場合、願い出により奨学金の返還が免除されます。）
大学卒業後1年以内に青森県内に居住及び就業（公務員を除く）し、引き続き3年を経過すること。
- 問合せ先 在学する学校



詳しくは、7月に学校から配布される募集要項をご覧ください。

県庁HP [大学入学時奨学金](#) 🔍 検索

高等学校奨学金通学費等返還免除制度

～通学費又は下宿費・寮費の支払にかかった経費について
高校奨学金において返還を一部免除する制度です～

- 対象 公益財団法人青森県育英奨学会の高等学校奨学生のうち、次のすべてに該当する方が対象になります。（専攻科を除く。）
(1) 奨学生が属する世帯が市町村民税所得割非課税世帯（生活保護法による生業扶助を受給している世帯を除く。）であること。
(2) 通学費では1月あたり1万円、下宿費（寮を含む。）では1月あたり1万2千円のいずれかを超える額を負担していること。
なお、市町村から通学費等に係る支援を受けている場合は、それを差し引いた本人負担額によります。
- 対象経費等 次による通学費等の1月あたりの実費相当額
(1) 通学費－奨学生の氏名が記載された以下、①、②の通学用の定期券等の金額（バスカード、回数券は不可） ①電車、バス ②スクールバス
(2) 下宿費又は寮費－経費の名目（入寮費、共益費、管理費等）に関わらず契約書等に記載された金額
- 返還免除額 奨学金の貸与月額又は通学費等の1月あたりの実費相当額（千円未満の端数は切り捨て）のいずれか低い方の額から通学費では1月あたり1万円、下宿費（寮を含む。）では1月あたり1万2千円を差し引いた額

〈計算例〉通学定期券（月単位）の場合
ア 1月あたり通学費が奨学金の額を超える場合
奨学金月額…18,000円 1ヶ月定期…25,500円→25,000円（千円未満切捨）
返還免除額…18,000円－10,000円＝8,000円/月
イ 1月あたり通学費が奨学金の額を超えない場合
奨学金月額…18,000円 1ヶ月定期…15,800円→15,000円（千円未満切捨）
返還免除額…15,000円－10,000円＝5,000円/月

- 申込方法 県内の各高等学校等にある「高等学校奨学金一部返還免除届（通学費等）」を同校へ提出してください。（年度末に、費用負担したすべての通学定期券のコピー（ICカード定期券の場合は購入時に発行される定期券明細書のコピー又はカードご案内の写し）又は下宿等の契約書のコピーを提出していただきますので保管をお願いします。）
- 問合せ先 在学する学校（詳しくは、次の書類をご覧ください。）
中学生・・・7月に中学校から配布される「予約奨学生募集要項」
高校生・・・高等学校に配布してある「通学費等返還免除制度のご案内」

県庁HP [通学費等返還免除](#) 🔍 検索

高等学校等奨学生募集（緊急採用）

～新型コロナウイルス感染症等の影響により
家計が急変した高校生は奨学金制度をご利用ください～

- 対象 保護者が青森県の住民で、現在、高等学校等に在学し、家計が急変した生徒
- 貸与月額 次のうち、必要に応じて希望する金額
ア：18,000円 イ：23,000円 ウ：30,000円 エ：35,000円
- 貸与期間 原則として採用年度末（令和5年3月）までとしますが、採用年度末において家計急変の事由発生後1年以内の奨学生は翌年度末（令和6年3月）まで貸与を受けることができます。
- 返還 無利子で、貸与終了後1年据置、貸与期間の3倍の期間内に全額返還（1年間貸与を受けた場合は3年間で返還）。ただし、学校に在学中の者は願い出により卒業まで返還を猶予することができます。また、失業等で返還が困難になった場合も、返還猶予制度があります。
- 申込方法 県内の各高等学校等にある申込書に必要な書類を添えて、在学する学校へ提出してください。
- 問合せ先 在学する学校

県庁HP [高等学校等奨学生（緊急採用）](#) 🔍 検索

問合せ先 青森県育英奨学会（教職員課内） TEL 017-734-9879

こんにちは! 青森県近代文学館です

令和4年度の特別展・企画展

青森県近代文学館は、青森県と文学の関わりを総合的に紹介することを目的に開設され、青森県立図書館の2階にあります。入館は無料で、明治時代以降の青森県ゆかりの文学資料を収集・保存しており、収集している資料は、展示等で公開しています。

令和4年度は、児童・生徒の皆さんにも楽しんでもらえる特別展・企画展を予定しています。

- ◆特別展 「教室で出会った文学」(7月中旬～9月中旬)
教科書で目にしたことのある森鷗外、夏目漱石、芥川龍之介らと青森県の意外な関わり等を紹介します。
- ◆企画展 「作家の愛用品展ーちょっとレトロなものたちー」
(10月下旬～12月下旬)
「走れメロス! 太宰治と仲間たち展」(2月上旬～3月下旬)

※上記の特別展・企画展や夏休み企画については、会期が変更になる場合があります。詳細は決まり次第、ホームページでお知らせします。

夏休み企画「太宰治と文豪の秘密ガイドツアー」

文学館の解説員が、夏休み期間は毎日、対象年齢に合わせたガイドツアーを実施します。参加無料です。小学生、中学生、高校生はもちろん、保護者の方や先生方もご参加ください!

※団体見学の場合は、事前にご予約をお願いします。

夏休みの自由研究に
どうかな…



学校・教育施設に向けたサポート事業

- ◆団体見学・・・ガイドをご希望の場合は、事前に予約をお願いします。
- ◆出前講座・・・職員が青森県の作家や作品について紹介します。
- ◆パネル展・・・過去の展示をA1サイズのパネルにして貸出します。

※詳細は、ホームページをご覧ください。

子育ての不安や悩みを解消するお手伝いをします

あおり
子育てネット

～子育てで困ったら、ひとりで悩まず、
まずは電話かメールで相談！～

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生までの子をもつ保護者やその家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行っています。

【対象】 乳幼児から高校生までの子をもつ保護者やその家族

【分野】 発育・発達、養育・しつけ、対人関係等、子どもに関する悩みや家庭教育全般

◇電話相談 017-739-0101

毎週月・水・木曜日 13:00～16:00
(祝日・年末年始を除く)

◇メール相談 24時間受付

<https://kosodate-a.net>



市町村教育委員会やPTA等の要望に応じて、「あおり親楽プログラム」*を活用した研修会に、進行役となる「あおり家庭教育アドバイザー」を派遣しています。派遣にかかる経費は無料です。

申込書は、県総合社会教育センターホームページからダウンロードできます。



*「あおり親楽プログラム」

子育てに必要な知識や技術について、参加者同士が身近なエピソードを通して話し合う参加型学習プログラムです。

県総合社会教育センターでは、子育て支援に関する動画を毎年制作しています。現在は、平成29年度から制作した約40本の動画を公開しています。

令和3年度に制作した6つの新作動画は、「YouTube」でも公開しています。「アンガーマネジメント」、「思春期のかかわり方」等、子育ての不安や悩みに対する解決の糸口となる内容となっていますので、どうぞご覧ください。



あおり
子育てネット

あおり子育てネット 検索

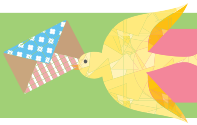
ホームページ

<https://www.alis.pref.aomori.lg.jp>

県総合社会教育センター

教育活動支援課

TEL 017-739-1270



おしらせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。県教育庁教育政策課情報広報グループ広報担当 (TEL 017-734-9868) までご連絡ください。

新青森県総合運動公園陸上競技場 ネーミングライツ事業者が決定しました！

新青森県総合運動公園陸上競技場の次期ネーミングライツ事業者が「カクヒログループ代表 株式会社角弘」に決定しました。施設の呼称は引き続き「カクヒログループアスレチックスタジアム」となります。

ネーミングライツ料は、カクヒログループアスレチックスタジアムを中心とした運動公園の安全・快適な利用環境の維持・向上を図るため、設備の補修、備品の更新等に活用されます。

●呼称使用期間／

令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)

●ネーミングライツ料／10,000,000円(年間)



カクヒログループ
アスレチックスタジアム

問合せ先 青森県教育庁スポーツ健康課

TEL 017-734-9906

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-sports/index.html>

青森県教育庁スポーツ健康課 検索

令和4年度「さんまる縄文体験」の参加者を募集します！

6月25日(土) 土偶を作ろう

8月20日(土) 土器を作ろう①(2回コース・土器製作)

10月1日(土) 釣り針を作って魚を釣ろう

10月22日(土) 土器を作ろう②(2回コース・野焼き)

11月12日(土) 土偶そっくりのレプリカを作ろう

令和5年

1月21日(土) 貝のアクセサリを作ろう

2月11日(土) 粘土でアクセサリを作ろう

※お申込受付は先着順です。

詳細は三内丸山遺跡センター HPをご覧ください。

問合せ先 三内丸山遺跡センター TEL 017-781-6078

<https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

三内丸山遺跡センター 検索



青森県立図書館からのお知らせ

◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子供たちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

●日 時／令和4年6月11日(土)、7月9日(土)
14:00～14:30

●場 所／青森県立図書館4階集会室

問合せ先 青森県立図書館 TEL 017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>

青森県立図書館

検索

◆おしえて先生！知るしるする探検隊

科学の実験やいろいろな仕事の人の交流、スポーツなどの体験、本の紹介などを行います。

●日 時／令和4年6月25日(土) 14:00～14:30

●場 所／青森県立図書館4階集会室

青森県立梵珠少年自然の家からのお知らせ

◆ファミリーキャンプ

恵まれた自然の中で、テント泊や野外炊事など、キャンプに関わるノウハウを学ぶ活動をおとして、親子がふれあいを深めながら自然に親しむ機会を提供します。

●期 日／令和4年7月23日(土)～24日(日)【1泊2日】

●対 象／小・中学生の児童生徒を含む保護者とその家族(定員：18家族)

●場 所／梵珠少年自然の家

●申込期間／令和4年6月20日(月)～29日(水)

◆夏の7daysキャンプ

豊かな自然の中で、自転車や川下りによる長距離の移動や野営・炊事など自立を促す生活体験をおとして、仲間の大切さや協力することの大切さを学び、人間としての強さやたくましさを育みます。

●期 日／令和4年8月6日(土)～12日(金)【6泊7日】

●対 象／小学5年生～中学3年生の児童生徒(定員：20名)

●場 所／梵珠少年自然の家 他

●募集期間／令和4年6月13日(月)～24日(金)

※参加費等、詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ先 青森県梵珠少年自然の家

TEL 0173-29-3303

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/bonju_top_index.html

梵珠少年自然の家 検索

種差少年自然の家からのお知らせ

◆エンジョイ！海遊び

いかだ遊び、かにつりなどの海辺の活動を通して、夏の海を思いきり楽しめます。

●期 日／7月①2日(土)・②3日(日)・③9日(土)・④10日(日)の4回開催

※いずれか1日に参加

●対 象／年長児、小中学生とその家族

●募集人員／各日100名

●内 容／いかだ遊び、カヌー遊び、サンドクラフト、磯遊び、かにつりなど

●募集期間／①②の日程：6月1日(水)～3日(金)

③④の日程：6月8日(水)～10日(金)

◆おいでよ！サマーキャンプ

仲間とキャンプをしながら、自然に親しんだり協力して活動を楽しんだりします。

●期 日／A日程 7月27日(水)～28日(木)

B日程 8月5日(金)～6日(土)

※A・Bの日程いずれかに参加

●対 象／小学5年生～中学生

●募集人員／各日程30名

●内 容／野外活動、炊事、創作活動など

●募集期間／A・B日程とも 6月28日(火)～30日(木)

※詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ先 種差少年自然の家 TEL 0178-38-2131

<http://taneshashi.jp/>

種差少年自然の家 検索